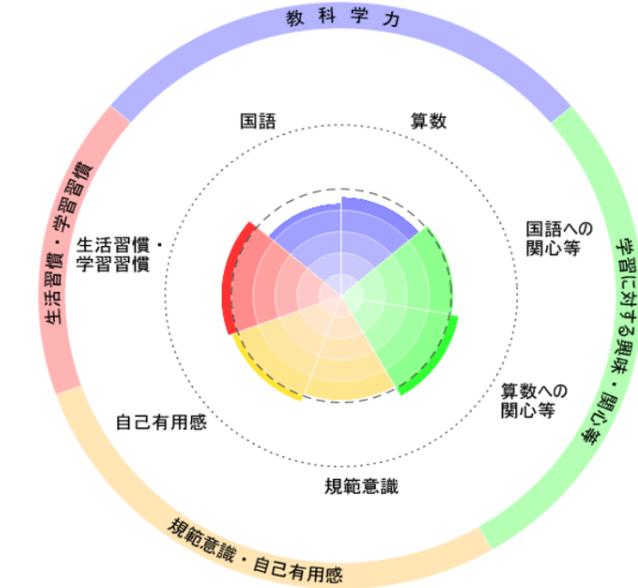


(1)学力調査結果から見られた傾向

|    | 成果と課題(○:成果, ●:課題)   | 対策  |
|----|---|---|
| 国語 | ○情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫をとらえることができている。<br>○ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることができている。<br>●話す・聞く能力に課題が見られる。<br>●複数の条件を取り入れ、まとめて書くことが難しい。                       | ・授業中に対話的な活動やスキルの活動を取り入れることにより、聞く力や話す力を伸ばしていく。<br>・新聞を活用し、書かれている内容の中心を考えたり、文章を要約したりする活動を積極的に取り入れる。 |
| 算数 | ○四則計算や整数や小数が混合した計算をすることができる。<br>○示された場面の状況から、割合の考え方や単位量あたりの大きさの考え方をを用いて問題を解くことができる。<br>●複数の数量から必要な数量を選び、立式することが難しい。<br>●グラフから資料の特徴や傾向を読み取ることに課題が見られる。 | ・立式の意味を問題場面や図と関連づけて考えることや、求めた答えの意味を考える活動を大切にする。<br>・問題から読み取ったことを数直線や図に表して考えたり、伝え合ったりする習慣をつける。     |

(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



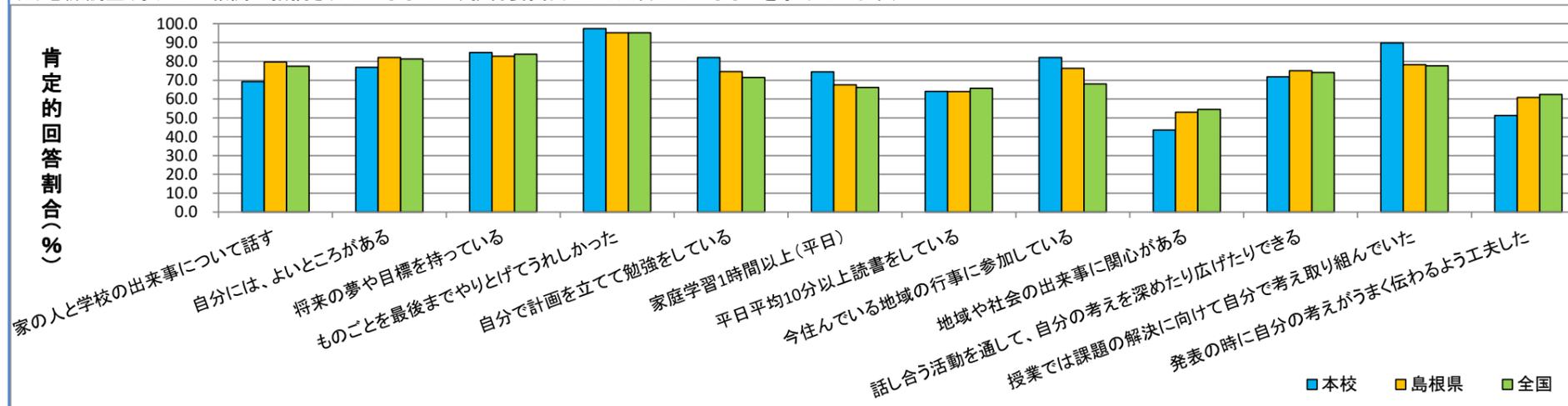
(2)生活意識調査から見られた傾向

|  | 成果と課題(○:成果, ●:課題)   | 対策  |
|--|---|---|
|  | ○課題解決に向けて、自分で考え、自ら進んで授業に取り組んでいる意識が高い。<br>○算数の学習が好きで、授業の内容をよく理解していると思っている児童が多い。<br>●家庭学習の時間が短い。<br>●休み時間に学校図書館を利用する児童が少ない。 | ・家庭学習の手引きをもとに、質と量のバランスを考えて宿題を出すようにする。<br>・図書館教育や委員会の取組みを積極的に推進する。 |

(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

|  |
|--|
| ・対話型授業づくりをさらに進めていく。<br>・掲示、放送など、学校全体の言語環境を整えていく。 |
|--|

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



【参考】

○平均正答率

|    | 本校 | 松江市 | 島根県 | 全国   |
|----|----|-----|-----|------|
| 国語 | 57 | 63  | 62  | 63.8 |
| 算数 | 63 | 66  | 65  | 66.6 |

受検者数 39人  
 ※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示して下さい。